

水俣病訴訟を支援へ

「県民会議」の結成式

水俣病訴訟支援・公費をなくする県民会議（略称水俣病県民会議）の結成式が、二十四日午後二時から、熊本市京町の県教育会館で開かれた。

同会議は、訴訟派を支持、法定闘争の準備を進めている県総評が中心となって、具体的支援体制を固めるために、各団体、市民に呼びかけ結成したもので、患者四人を含む水俣病家庭互助会員十七人をはじめ水俣病市民対策会議会

員、弁護団代表、来賓など関係者二百二十二人が参加した。

議長団選出、来賓あいさつなどのあと、家族代表の渡辺榮蔵氏、弁護団代表森有度氏などが「裁判に勝つまで戦い抜く」と決意を表明した。このあと、家庭互助会員がそれぞれ自己紹介、県民会議結成を感謝するとともに、水俣病にかかった家族の悲惨さを訴え

た。最後に「訴訟支援の戦いをすべての県民に広げること」を宣言して閉会した。

なお、同県民会議の役員には次の五氏が決定した。

▽代表幹事 福田令寿（県社会福祉協議会長）森田誠一（熊大教授）上妻四郎（医師）馬場昇（県総評議長）▽事務局長 本田恭輔（県総評事務局長）



結成式の会場（県教育会館で）